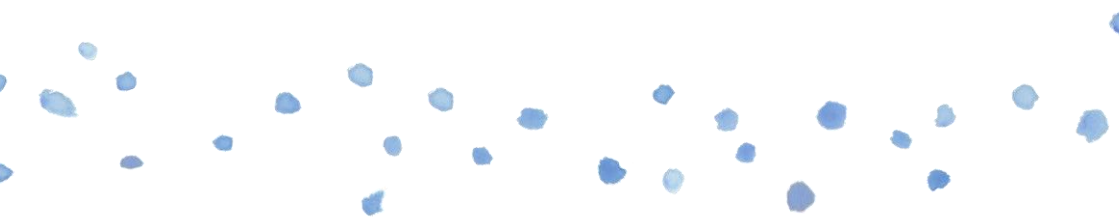
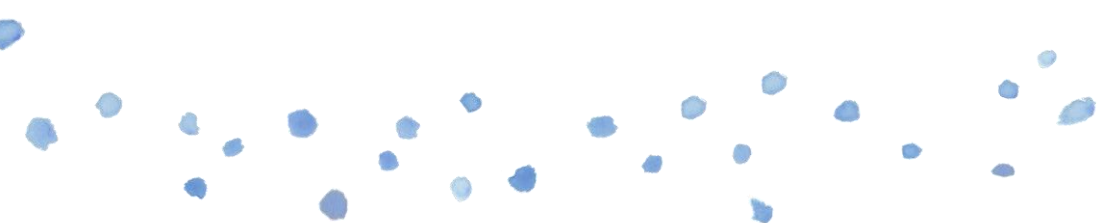


来たれ ナースマン

男性看護学生・男性看護師の皆さまへ





もくじ

- 1 はじめに
- 2 副院長兼看護部長あいさつ
- 3 男性看護師 Q&A
- 7 他職種からメッセージ
- 8 女性看護師からメッセージ



2017年
男性看護師ついでいこて
副看護部長と

はじめに

男性看護学生・男性看護師の皆さまへ

男性看護師や職員のメッセージを紹介します。
当センターで働く魅力やキャリアアップを
イメージしていただけましたら幸いです。



日本赤十字社医療センター
Japanese Red Cross Medical Center

副院長兼看護部長あいさつ

患者さんのケアや円滑なチーム
運営には欠かせない存在です

副院長兼看護部長

古川 祐子



男性看護師がまだまだ少ない頃、男性看護師は精神科病院で働くことが多く、一般病棟に就職することが難しい時代がありました。しかし、当センターの歴史を振り返ってみますと、他施設に比べて古くから男性看護師が働いていました。手術室、透析室などが主でしたが、今ではどこの病棟でも活躍しています。

もう30年も前のことですが、私自身も手術室で男性看護師と一緒に働いていました。彼らはたいてい女性看護師より優しく、人間味にあふれていました。その優しさだけでなく女性社会にあえて飛び込む強さも持っているというのが私の印象です。

女性では気づかないことや触れにくい話題などもあります。歴史からもわかりますが、当センターには男性も女性もそれぞれの強みを生かしつつ、協働できる環境があります。また、男性がチームに加わることで、患者さんのケアはもちろん円滑なチーム運営が可能になることもあります。まだまだ少数派の男性看護師ですが、看護管理者や認定看護師が誕生するなど存在感は増していると感じています。

女性社会でキャリアアップを目指すのは私たち女性が思うより困難も多いのかもしれませんが、これからは性差を超えて、スペシャリストや看護管理者がもっともっと多くなってほしいと願っています。

頑張れ！男性看護師たち



男性看護師Q&A 認定看護師



子供や保護者の笑顔を見た時や
チームとして他職種と連携できた時
やりがいを感じます

救命救急センター 特任副師長
小児救急看護認定看護師

井出 拓也

2001年から小海赤十字病院内科病棟で約2年間勤務。2003年当センター小児病棟に入職し、ICU勤務を経て、2010年小児救急看護認定看護師取得。現在、救命救急センター勤務。小児救急看護認定看護師会役員・PALSインストラクター・トリアージナース育成研修会インストラクターとしても活動中。

認定看護師としての活動を紹介してください。

自部署では小児看護・トリアージナース・初療などを教育しています。院内では、小児看護・フィジカルアセスメント・BLS・他部署での勉強会開催などの教育の他、医療安全に関する活動・院内トリアージシステム構築をしています。その他、院外においても、認定看護師等の教育活動をしています。

当センターで働く上でのやりがいを教えてください。

プロセスを含めて看護師としての役割を果たせたと実感できた時にやりがいを感じます。具体的には、子供や保護者の笑顔を見た時やチームとして他職種と連携できた時、スタッフの成長を感じられた時などです。

男性看護学生・男性看護師の皆様へ一言お願いします。

常に何かを得ようとする貪欲な姿勢・考えを言語化して伝える能力・社会性・包容力・客観的思考を持つことが大切だと思います。また、院外活動(他施設スタッフとの交流、情報交換)・学会への参加や発表の機会を通し、専門職として最新の情報・エビデンス等の知識を得ることも大切だと思います。

こっそりQ&A

男性看護師同士の交流はあるの？

仕事面では男性看護師中心のプロジェクト活動などで交流があります。また、オフの場面では年に1-2回ほど飲み会も開催しています。

男性看護師Q&A 赤十字救護員

赤十字救護員になるための 教育環境が整っています

肝胆膵・移植外科/
大腸肛門外科病棟 主任

柳澤 篤志



2010年当センター入職。救命救急センター(救急病棟、EICU、救急外来)勤務6年を経て、現在、肝胆膵・移植外科/大腸肛門外科病棟勤務。2016年に赤十字救護員となる。

赤十字救護員を目指そうと思った理由は何ですか？

私は高校3年生の時に新潟中越地震を経験しており、様々な場所から集まった方々に大変お世話になりました。限られた物資で被災者を助ける姿や、疲弊している被災者に声をかけて話を聞いている姿を見て、私も救護活動に携わりたいと思いました。そのため日本赤十字看護大学に入学し災害看護を選択して学び、入職後は救急分野への配属を希望しました。

赤十字救護員になるためにはどうしたらいいのですか？

赤十字救護員になるには看護師として臨床経験を積みつつ、所定の研修を受講する必要があります。

実践者ラダーレベルⅠ^(※)を取得し、赤十字救護員研修Ⅰを受講します。その後、実践者ラダーレベルⅡ^(※)を取得し、赤十字救護員研修Ⅱを受講します。また、並行して他にも赤十字救護員になるための研修がありますので、すべて受講する必要があります。それらをクリアすると赤十字救護員として登録され、災害時に要請があれば派遣されます。

^(※)実践者ラダーについては当センターHPやパンフレットを参照してください。

男性看護学生・男性看護師の皆様へ一言お願いします。

災害時には赤十字マークを目にすることが多いと思いますが、全国各地の赤十字施設から赤十字救護員が派遣されています。そのため当センターにも多くの赤十字救護員が登録されており、常に災害に備えていつでも派遣できるようにしています。また赤十字救護員になるための院内研修も充実しており、赤十字救護員の心得や知識を身に付ける教育環境も整っています。被災された方を救いたいという気持ちがある方は、ぜひ一緒に赤十字救護員として働きましょう！！

男性看護師Q&A 育メン看護師



育児短時間制度は
職場の協力も得られ、子育てを
見つめる上で、とても良い機会でした

緩和ケア病棟
廣島 陽一郎

2005年当センター入職。ICU勤務3年を経て、現在、緩和ケア病棟勤務。2007年に結婚し、2女1男の子供の父。妻は医療試薬の輸入・販売の営業職。

育休や育児短時間制度は活用しましたか？

長女の保育園入園、妻の職場復帰時に育児短時間制度を1ヶ月活用しました。職場の協力も得られ、子育てを見つめる上で、とても良い機会に恵まれたと思います。

変則勤務で育児はどのようにしていますか？

出来る範囲で家事や保育園の送迎を担当しています。夜勤明けでも仮眠後に夕食の買い出しや簡単な準備、保育園のお迎えはします。自分が夜勤中は妻の労力が大きいため、休日の時はなるべく多く育児をするように心がけています。

経済面で工夫していることはありますか？

今後、増えていくであろう教育費を貯蓄しながらも家のローンを早めに返済しようと計画中です。なるべくお弁当を持参しています(笑)。

仕事と育児の両立で悩んだことや良かったことを教えてください。

突発的な有事(病気・けが、震災時など)への対応は、家族と話し合いを深めるようになりました。良かった点としては、両親の協力も得られ、仕事をしながら育児をすることで、子供を持つスタッフへの気遣いが出来るようになったことです。

こっそりQ&A

女性が多い職場で肩身が狭くないですか？

女性スタッフとも互いに尊重し、助け合う風土があります！看護師同士で結婚して家庭を持っている方もいます。

男性看護師Q & A 看護師長

産学協同のもと、看護の質を
高められる環境にあります



肝胆膵・移植外科/
大腸肛門外科病棟 看護師長
高村 忠輔

1996年当センター脳神経外科病棟へ入職。ICU、個室病棟勤務の後、副看護師長として呼吸器内科/耳鼻咽喉科病棟、看護部教育企画室で勤務。2013年より消化器内科病棟看護師長。2015年より現職。

なぜ看護師になろうと思ったのですか？

母が看護助手だったので、幼い頃から医療職に憧れがありました。その中でも人と深く関わることができる看護師の仕事に魅力を感じました。

昔と今、男性看護師に関して変わったことは何ですか？

とにかく人数が増えました。当センターでは現在40人を超えています。また、様々な部署で活躍できるようになりました。そのためか、以前は何度説明しても患者様に「先生」と呼ばれましたが、現在では「看護師さん、師長さん」と呼んでいただけるようになりました。

今後どのようにキャリアアップしたら良いと思いますか？

専門・認定看護師など、スペシャリストが増えている傾向は良いことです。一方でジェネラリストとして幅広い視野を持ち、患者様を全人的にとらえて優れた看護ケアを実践できる人材も大切です。どのような方向に進むにしても目標をしっかり持ち、精進することが大切です。

当センターの魅力を教えてください。

同じ敷地内に大学・大学院・福祉施設がある病院は滅多にありません。産学協同のもと、看護の質を高められる環境にあります。また、看護師自身のキャリアアップにも最適な環境だと思います。

男性看護学生・男性看護師の皆様へ一言お願いします。

まだまだマイノリティではありますが、男性看護師に対するニーズは増加しています。当センターでは男性看護師同士で意見交換するフォーマルな会議を開催するなど、男性看護師が働きやすく、キャリアアップしやすい環境を病院全体で整えています。ぜひ一緒に働きましょう！

他職種からのメッセージ



話しかけやすく
病棟の雰囲気が良いです

薬剤部 薬剤師
西村 康孝

女性が多い看護師の世界「病棟」で、やはり男性看護師は断然話しかけ易いです。女性看護師とは異なる思考回路を持つ男性看護師がいることで病棟の雰囲気が良い方向に回っているのではないのでしょうか。

看護師ほどではないですが、薬剤師も女性が多い職種なので共感できる部分があります。一緒に頑張りましょう。

チームの精神的な支柱として
期待が大きいです

救命救急センター 医師
近藤 祐史



女性の多い病院という場において、男性看護師の存在は貴重だと思います。同性であることで距離感は縮められ、固い結束が生まれると思います。

例えば、「軽く飲みに行こう」と誘うのは異性だと難しい部分もありますが、同性であれば障壁が少なく、同僚としての関係を越えた友情が生まれると感じています。必ずしも必要ないと言われるかもしれませんが、職場では普段話せないプライベートな話や将来の目標、夢、キャリアプランなどを話すことで、人となりがわかり、相互理解が深まるとより信頼感が強まると感じます。そういった良好な関係の中で働くことはストレスの軽減にもつながり、潤滑な連携を生み出すと思っています。

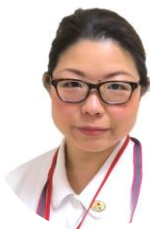
男性看護師は単に体力があるとか力が強いとか、そういったニーズだけでなく、チームの精神的な支柱としても期待が大きいと思います。当院の男性看護師はこの10年で顕著に増加傾向にあります。それは世相もあるかも知れませんが、まずは彼らの“居心地”というものが確保されていないと実現しないことだと思います。彼らのようにいい顔して一緒に働いてくれる仲間が増えることを願ってやみません。

女性看護師からメッセージ

患者様の羞恥心やニーズに配慮
したケア調整も可能となり、
看護の幅に広がりを感じます

緩和ケア病棟 看護師長

野口 歌奈子



看護の現場では患者様、ご家族の対応時に感情を揺さぶられるような事も多く、スタッフは自分の感情をコントロールすることが難しいような場面も少なくありません。そのような時、男性看護師の冷静さや女性看護師とは異なる切り口での解釈、受け止め方を聞くことにより、感情から切り離されて客観的に事象に向かいあうことができるように感じています。

身体能力の違いから体格の大きな方の移動時に頼ってしまうことがあるのはもちろん、若い男性の患者様の保清等、患者様の羞恥心やニーズに配慮したケア調整も可能となり、看護の幅に広がりを感じています。

看護の対象は男女同じように存在しており、看護者も男女が同じ位に接する事が出来れば、自然な環境になるのではないかと考えています。



救命救急センター

相澤 ひとみ

体位変換や車いす移動などの力仕事はもちろん、若い男性患者へのケア介入でも活躍してくれます。

また、女性の多い職場特有の雰囲気や中和してくれるため、男性看護師の存在は大切だと思います。

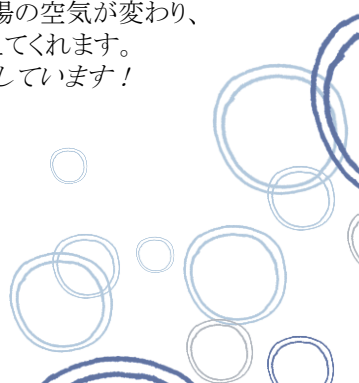
NICU

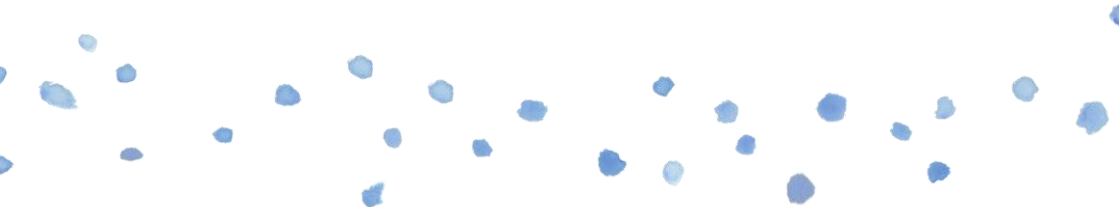
稲葉 亜希子



仕事において効率良く動く姿は女性とは違う働き方で素敵だと思います。

女性看護師の中に男性看護師がいることで職場の空気が変わり、良い影響を与えてくれます。力仕事、頼りにしています！





最後まで読んでいただきありがとうございました。

日本赤十字社医療センターホームページの
看護部ページに男性看護師のコーナーがあります。
随時更新していますのでぜひご覧ください。